

令和3年度 大阪府立東大阪支援学校 第3回 学校運営協議会について

令和3年度 第3回学校運営協議会につきましては、感染症拡大防止の観点から書面開催による意見聴取で実施いたしました。いただいたご意見を以下に集約いたしました。

1. 令和3年度学校教育自己診断アンケートの考察について

・個別の指導計画やHPなど、保護者の理解という要因が大きいと思いますが、保護者の反応を受動的に待つのではなく、こちらから様々な発信をしていくというアクティブな方法を検討したいですね。回収率は、このまま維持したいところです。保護者の来校の機会が減ったのは致し方ないと思います。でもITで授業の様子など情報発信して行ってください。

・保護者アンケートについて、前年度と提出率がほぼ同じであったが、肯定的な回答、(進路に関する情報提供・感染症予防)している事について良かったと思いました。年明けより地域の学校では、コロナにより休校、学校・学年閉鎖が大変多かったのに対しわが校では、ほとんどなかった事に関して、先生方の日々の努力だと感じました。」

2. 令和3年度 学校評価について

・災害時の医ケアマニュアルの見直しは、是非進めてください。とにかく何かを形にすることが大切だと思います。「間違っていれば直せばいい」という開き直りが必要です。感染症対策としてリモート体制の構築にも取り組んでください。

・コロナ禍の中、大変先生方は、頑張っておられたと思いました。

・コロナ禍においても「主治医等学校見学会」「全学部の公開授業」が出来た事は、素晴らしいと思っています。今後を見据えて、オンライン授業も大切になると思いますし、障がい児において、イメージづくりは大切なのでリモートの体験実習も良い方向だと思います。

3. 令和4年度 学校経営計画「中期的目標」について承認されました。

令和4年度 学校経営計画について

・災害時対応マニュアルは、是非完成させてください。特にコロナ禍での災害は、発生するので、それを踏まえた感染症対策や児童生徒の命を最優先(経管栄養、服薬や電源確保等)ということを前面にだしたものができれば良いですね。職業コースの充実も是非よろしく願います。

4. 授業アンケートの回答について

- ・小学部と高等部普通課程の回収率が気になりますが、肢体不自由の児童生徒の保護者は、授業参観どころではないのかもわかりませんね。医療的ケアや子どもの支援という発想でアンケートを考える必要がありますね。でも概ね肯定的ですね。
- ・学部によっての回収率が気になります。各クラスで提出を促す事はできないでしょうか？（強制は無理ですが、口頭で伝えることも考えてください。）
- ・コロナ禍だからこそ、平常に学校に通える事の有難みがよく分かるのだと思います。今は、放課後デイもありますが、生涯のベースは、やはり学校だと思います。

5. 今年度の進路状況とまとめ

- ・大阪府の就労率の低さ（特に知的障がいの場合）はこれまでも課題になっていますが、何とか上げていきたいですね。A型を含めた4名の就労する卒業生には継続して勤めてほしいですね。また福祉施設にいく生徒も楽しい生活を送っていただきたいです。とにかく卒業生、全員元気で頑張っていることを祈っています。
- ・保護者の希望と本人の希望が一致しない件、やはり放課後デイなどで、保護者自身が子どもと関わる機会が少ない事が起因しているのではと思います。

6. 全体に関わり何かありましたらご記入ください。

- ・新たなオミクロン株の発生で学校は大きな影響を受けましたね。管理職をはじめ教員の皆さんも一時も気を抜けない状況だったと思います。私も大学や専門学校の授業がオンラインになりましたが、やはり対面は良いですね。でも遠隔授業などIT化を進める必要はありますね。
- ・コロナ禍の中で先生方は、色々と大変とは思いますが、これからも「子ども」たちの為にPTA共々頑張っていけたらと思います。
- ・HP、見やすくなりましたね。

以上、簡単ですが令和3年度第3回学校運営協議会のご報告とさせていただきます。